



# 30

30周年記念  
2014

寝屋川市美術協会



## ご挨拶

### 寝屋川市美術協会

関係各位様には平素より当協会に対し  
ご支援を賜りまことに有難うございます。  
当協会は、発足して30周年を迎えることとなり、  
ここに記念誌を発行する運びになりました。  
記念誌では30年の足跡を振り返るとともに、  
記念展に出展された作品を掲載いたしました。  
当協会の更なる発展につなげるよう  
会員一同研鑽を重ねてまいります。  
変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう  
お願い申し上げます。

- 寝屋川市美術協会が発足する以前は、市文化会の絵画部（1958年）に始まり、1977年に発足した寝屋川市文化連盟に所属の部会（会長 遠藤実）として活動をおこなっていた。
- 1984年 猪熊政数氏、小早川協右氏、三村精志郎氏、井上圭史氏らが発起人となり、猪熊政数氏が初代会長に就任  
「寝屋川作家の会」から合流して「寝屋川市美術協会」の名称で新たに発足
- 1987年 第1回「寝屋川市美術協会展」（以降市美協展と省す）を寝屋川市民文化祭にて開催
- 1990年 「写生会」を始める
- 1995年 小早川協右氏が会長、前田幹雄氏が副会長に就任
- 1996年 総合センター4階で「秀作展」を開始、年4回掛け替えて年中展示を行う
- 1997年 第1回「選抜展」を開催  
「市美協展」出品作品の中から、投票によって選ばれた100号までの力作を展示
- 1998年 三村精志郎氏が副会長に就任  
第10回「市美協展」を開催
- 1999年 会報「アート」第1号を発刊  
この年の会員は85名を数える
- 2000年 寝屋川市文化連盟50周年行事の期間中に「市美協展」を開催
- 2008年 守田集氏が副会長に就任  
第20回「市美協展」を開催  
会報「アート」第10号記念号を発行  
「選抜展」を「秋季展」と改称し30号以上の作品による自由参加にあらためる
- 2009年 寝屋川市文化連盟の企画事業の「寝屋川市民絵画展」に協賛
- 2010年 寝屋川市文化連盟から自立し、独自の運営と活動を始める  
第1回「駅前ギャラリー」を、寝屋川市の公益活動支援事業の補助金公募で実施  
市美協のホームページを開設する
- 2011年 「駅前ギャラリー」を春と秋の年2回の行事として定着し会員以外の参加も呼びかける
- 2012年 守田集氏が会長、石井好道氏が副会長、小早川協右氏が顧問に就任  
市民ギャラリーの改装につき「市美協展」を次年度に、「秋季展」を総合センターで開催
- 2013年 石井好道氏が会長、秋元正志氏が副会長に就任  
第1回「デッサン会」を実施  
市民ギャラリーが図書館に隣接して改装なる  
第25回「市美協展」を5月に、第17回「秋季展」を11月に開催  
会報「アート」第15号を8月に発行（第25回「市美協展」を掲載）  
第95回「秀作展」を開催
- 2014年 30周年記念の「市美協展」と「祝賀式典」を1月に開催





## 祝辞

寝屋川市長 馬場 好弘

寝屋川市美術協会発足 30 周年、誠におめでとうございます。心よりお祝いとお慶びを申し上げます。

貴会におかれましては、1984 年に発足されて以来 30 年という永きにわたり、会員相互の交流を図られながら年間を通して数多くの美術展を開催され、芸術文化の普及・発展並びに本市の文化振興に多大なるご貢献を賜っております。

これもひとえに役員並びに会員の皆様の熱意とご努力の賜物と存じ、深く敬意を表するしだいでございます。

今後とも、素晴らしい美術作品を通して、鑑賞される多くの皆様の心を豊かにしていただきたいと思います。

本市といたしましても、今後とも、文化の香り高いまちづくりに全力を傾注してまいり所存でございますので、皆様方にはより一層のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びになりましたが、記念すべき発足 30 周年を契機とされ、寝屋川市美術協会の今後ますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げまして、お祝いのことばといたします。



## 祝辞

教育長 高須 郁夫

寝屋川市美術協会が30周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

平素より、寝屋川市美術協会の皆様方には、本市の教育行政、とりわけ美術を通じた市の文化振興にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび発足30周年を迎えられたのは、「美術協会展」「秋季展」「駅前ギャラリー」の開催など、これまで着実な活動を積み重ねてこられた賜物であり、深く敬意を表する次第でございます。

作品を創造し鑑賞する芸術文化活動は、人々の心を豊かにするものでございます。

表現者・表現物と、鑑賞者とが相互に作用し合う素晴らしい芸術活動をこれからも継承していただきたいと思います。

教育委員会といたしましても、引き続き市民の皆様が芸術に親しめる環境を充実してまいり所存でございますので、今後とも、ご支援・ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

結びになりましたが、貴会の今後ますますのご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げまして、お祝いのことばといたします。



## 30周年を迎えて

寝屋川市美術協会  
会長 石井好道

お陰様をもちまして当協会は30周年を迎えることとなりました。会員の交流を通じ、より高い創作活動と作品発表を行なうと共に、市の文化向上に寄与することを趣旨として、1984年に「寝屋川市美術協会」が発足しました。爾来、先輩諸氏によって今日の美術協会を築いてまいりました。

30周年記念展では会員の作品に加え、会員OBの方々や寝屋川市ゆかりの作家の作品も展示され、記念展にふさわしい充実した内容にすることができました。

新装なった市民図書館に隣接する好立地と合わせ、新ギャラリーで初めての市美協展は今までにない多くの方々が鑑賞にこられました。

また記念展の期間中に開催された懇親会で、会の発展に貢献された方々に感謝状を、お渡しいたしました。現会員の小早川協右氏、森清孝氏、OBの井上圭史氏、山口美佐子氏、前田幹雄氏、森岡玉翠氏の6名の方たちです。

現在は市民ギャラリーで開催される「市美協展」「秋季展」、市駅広場での「駅前ギャラリー」総合センターでの「秀作展」を通じて会員の作品が展示され、市の内外に存在感を示し評価をいただいております。

これからも会員自ら研鑽を重ね、当協会の更なる発展につなげてまいりたいと思います。今後何卒変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 寝屋川市美術協会創立30周年を迎えて

顧問 小早川協右

「寝屋川市美術協会」創立30周年を皆様と共に迎えることが出来、感慨ひとしおです。会員各位と協会諸先輩の方々が、会の展覧会開催や事業活動を通して地域の文化向上に尽くして来られた賜物と深く感謝申し上げます。

寝屋川美術協会は、寝屋川市文化会、のちの寝屋川市文化連盟の絵画部として遠藤実氏によって運営が行われてきました。

1984年「寝屋川市美術協会」と名称も新たにスタートし、初代会長には猪熊正数氏が就任しました。

一方、市内在住で全国で行なわれている公募展等で活躍されている美術家で「寝屋川市美術作家の会」を組織し展覧会を開催していました。この展覧会は約10年で目的が達成出来たとして以後美術協会と合流し本格的な「寝屋川市美術協会」として現在に至っています。

美術協会が他市の団体より勝る様ご指導して頂いた井上圭史先生、前田幹雄先生、(故)三村精志郎先生、守田集先生、山口美佐子先生等々や、長年美術協会を引っ張って来て頂いた運営委員の皆様のご尽力のお陰で現在が有るのです。

私たちはこれからも展覧会や写生会・デッサン会を通して、個性豊かな作品を描きたいと願っています。終りに皆様方のご多幸とご隆昌をご祈念申し上げます。



## 30周年記念事業



記念撮影 ホテル ニューコマンドー



表彰式等 記念式典 1月



30周年記念展 市民ギャラリー 1月

## 年間事業



総会 総合センター 3月



25回市美協展 市民ギャラリー5月



17回秋季展 11月



アート15号 8月発行 30周年記念誌編集 発行3月



秋の写生会 山田池10月(春 6月)



秀作展 91~95回 総合センター 通年



第2回デッサン会 市民ギャラリー 8月  
第3回デッサン会 (2月)



第7回駅前ギャラリー 京阪寝屋川市駅 東側広場 10月  
第6回 (5月)



シンボルマークの作成  
ホームページの運営 管理



発足30周年記念展から



タバコを吸う男 クラス F30  
田伏 勉

招待作品  
寝屋川市  
ゆかりの作家



秋簾 日本画 F30  
前田幹雄

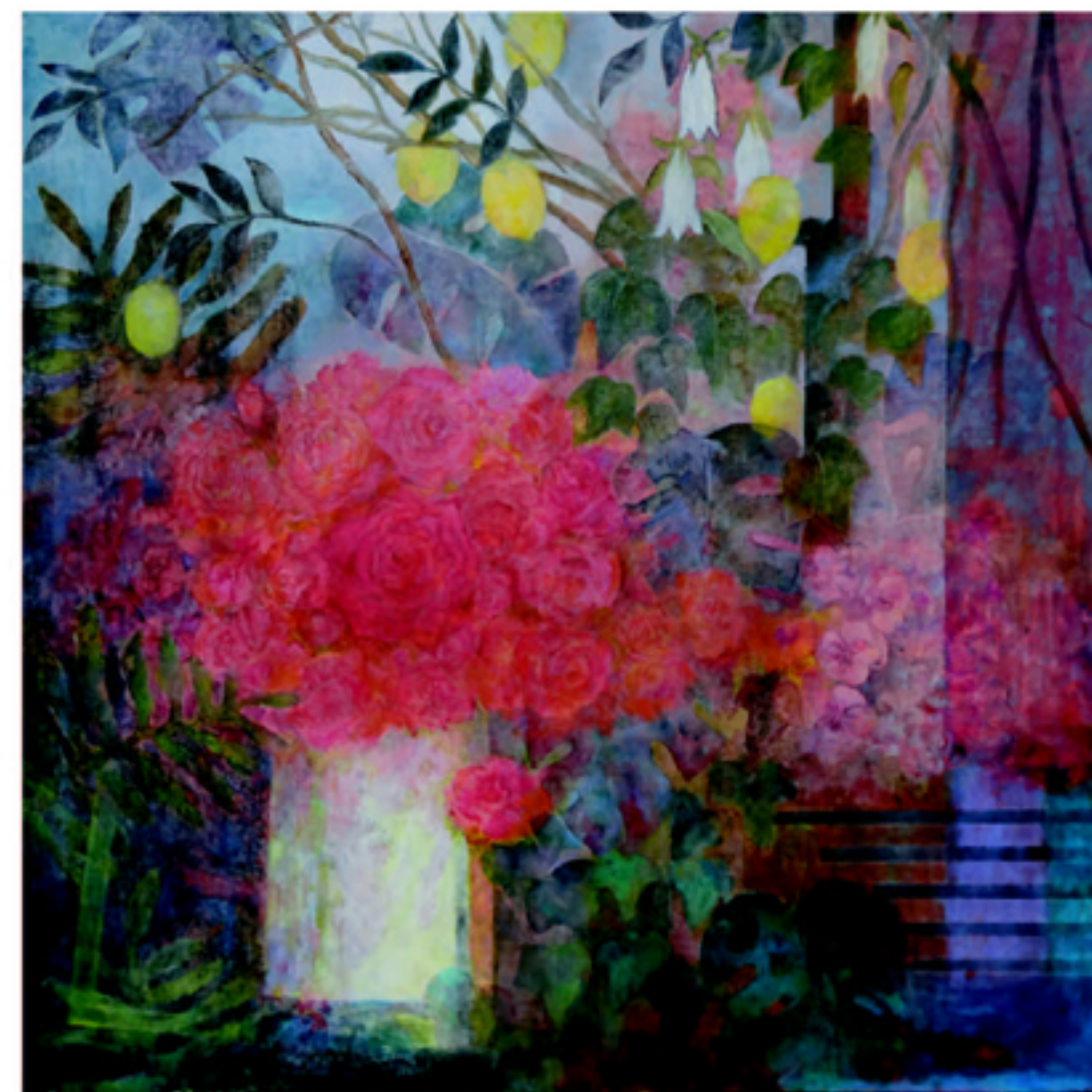


原生の森 油彩 F30  
石井好道

会員作品



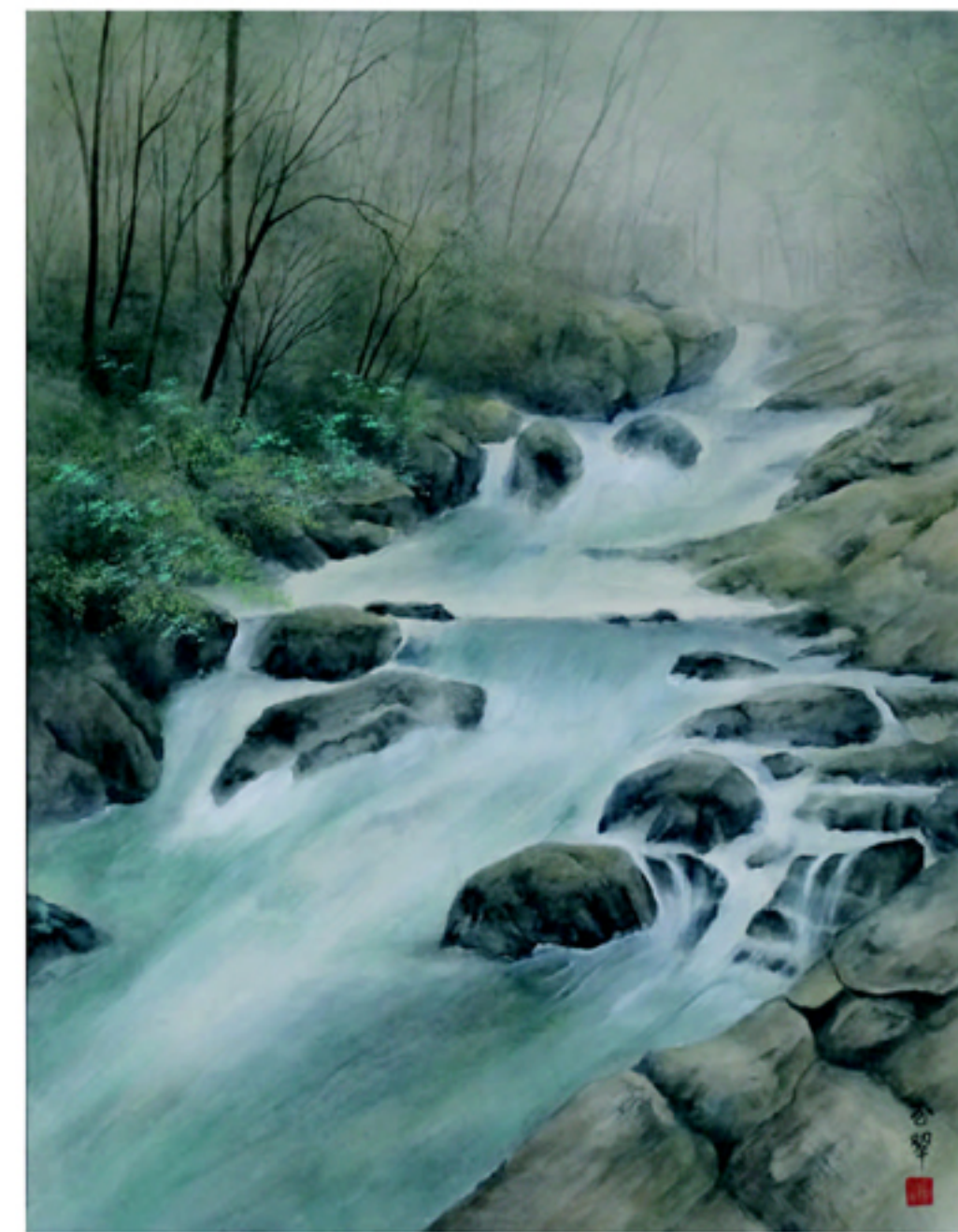
泉佐野の漁港 水彩 F10  
小早川協右



檸檬 油彩 S20  
山口美佐子



春・春・春 色紙 F10  
三村精志郎



溪流 日本画 F30  
森岡玉翠



早春 油彩 F10  
秋元正志



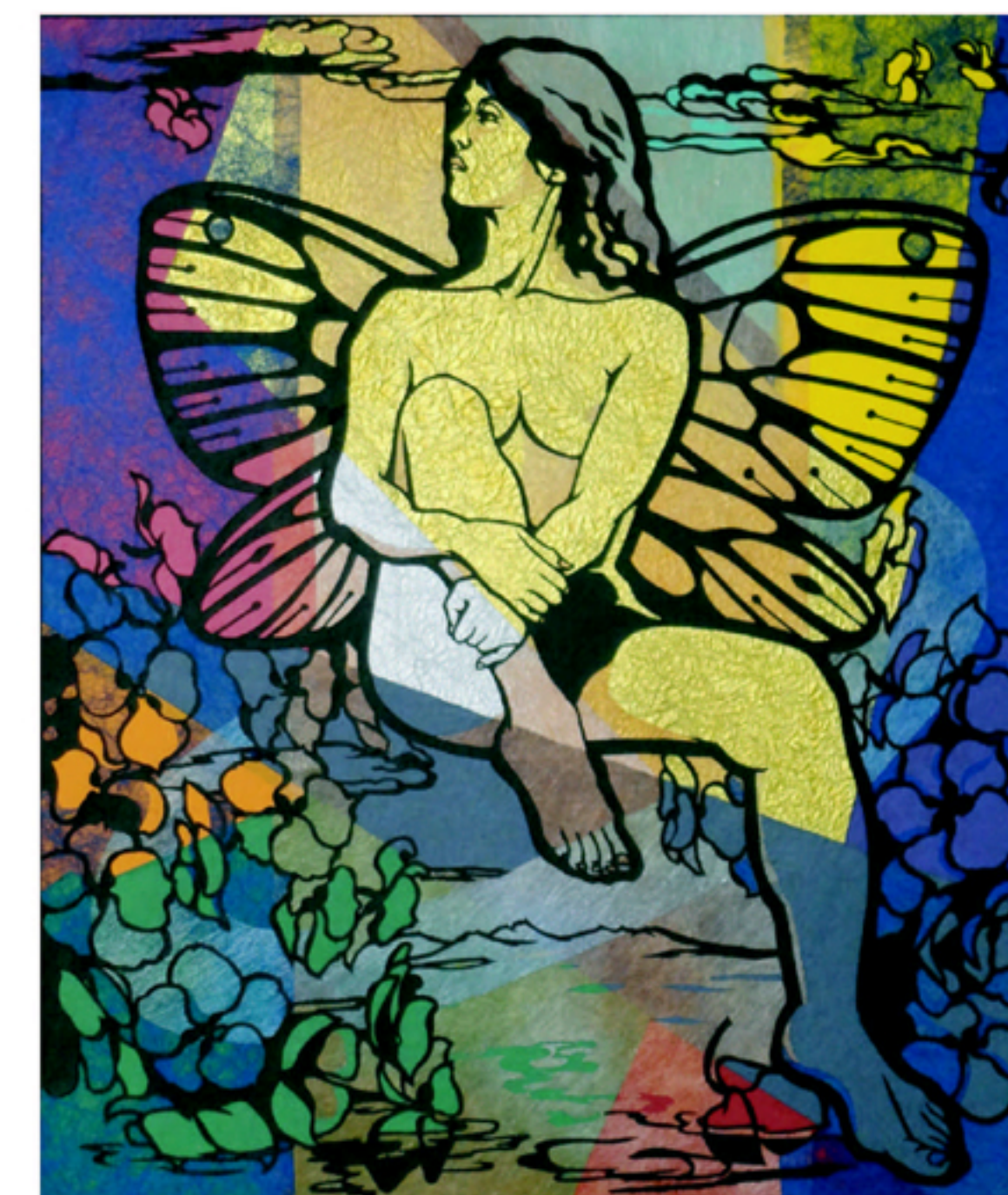
人物画Ⅵ 民族衣裳の女性 油彩 F30  
倉内崇之



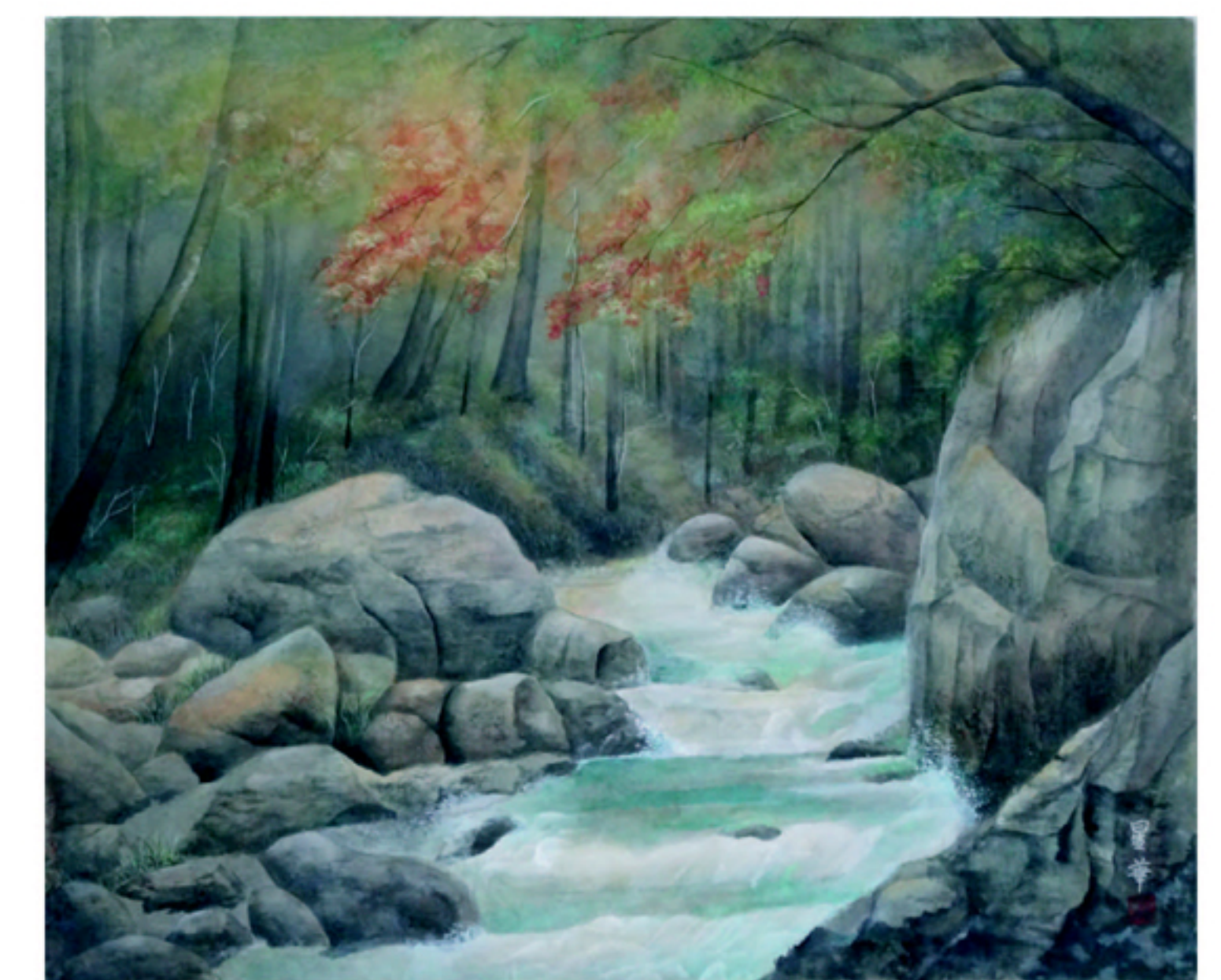
陽はまた昇る アクリル F10  
井上圭史



Callejero 油彩 P20  
高橋雅史



AHAVA-I きりえ F10  
天音比佐

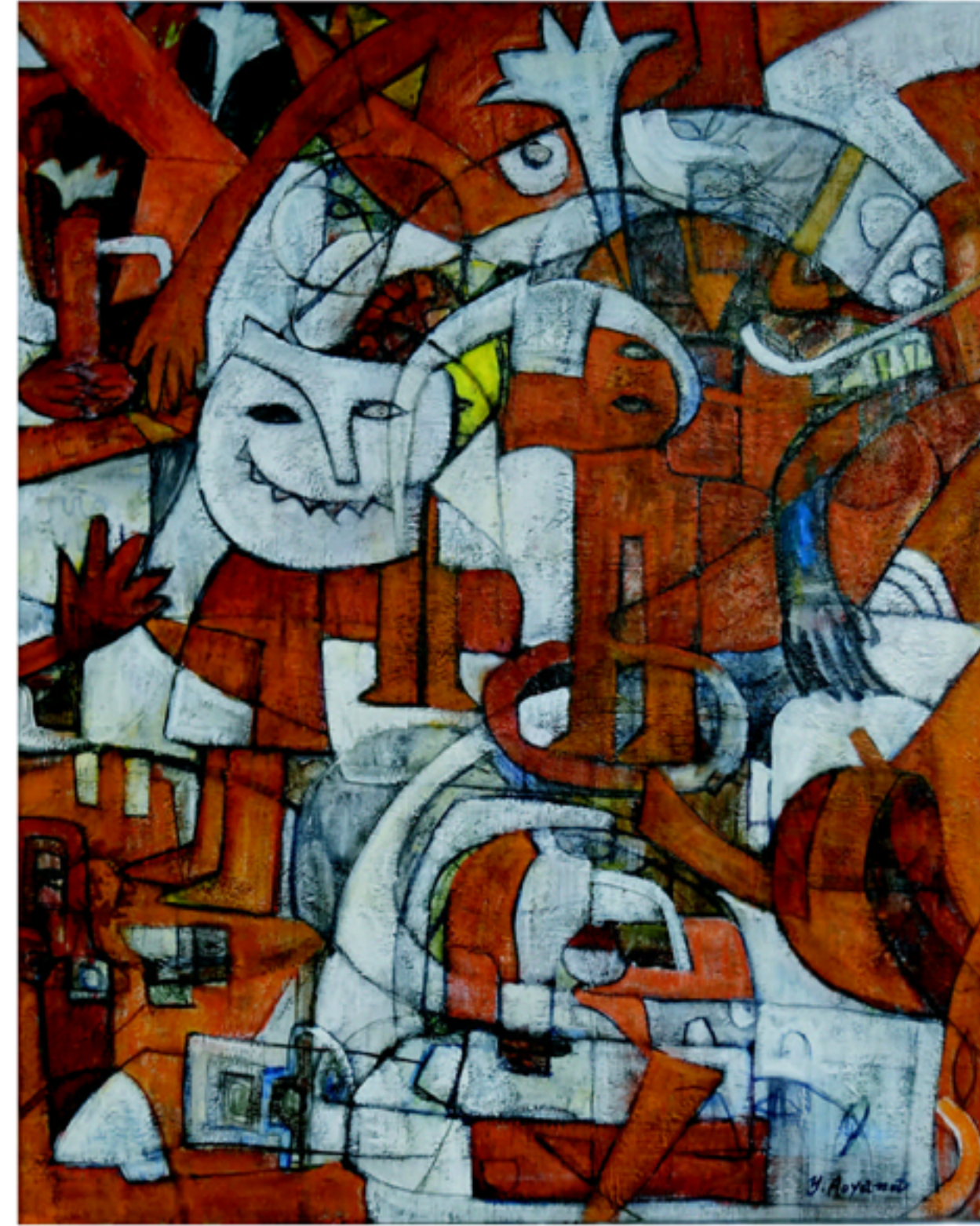


秋景 日本画 F20  
尾垣星華





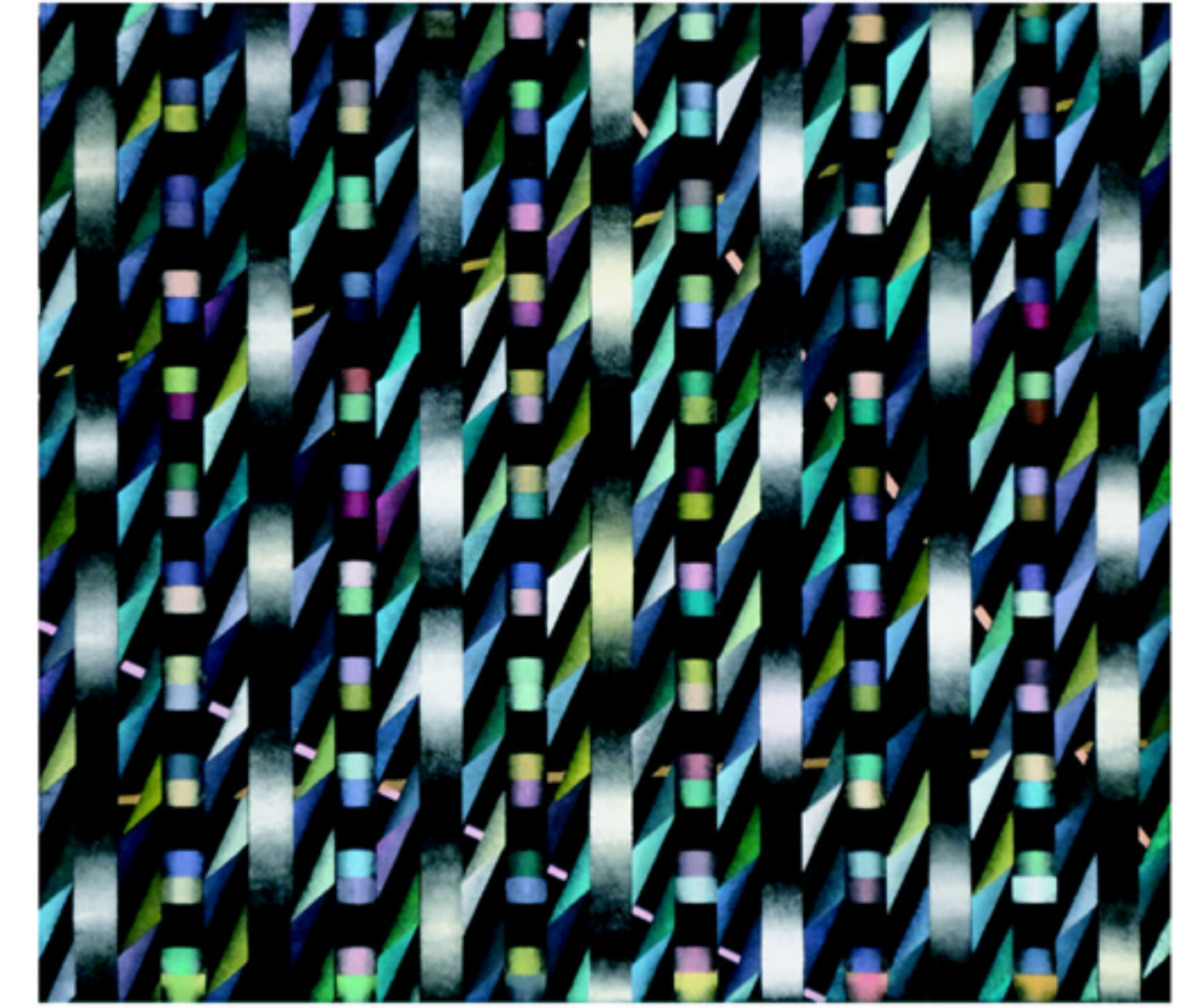
ラベンダーの風薫る丘 油彩 F20  
南雲ゆう子



出会い 油彩 F30  
青山幸生



街道すじの集落 油彩 F20  
松浦澄江



彩光 染描画 10号  
田内康雄



洋子 油彩 P30  
伊郷武治



泉佐野にて 油彩 F20  
川野信敏



Mystery 油彩 F20  
小松 烈



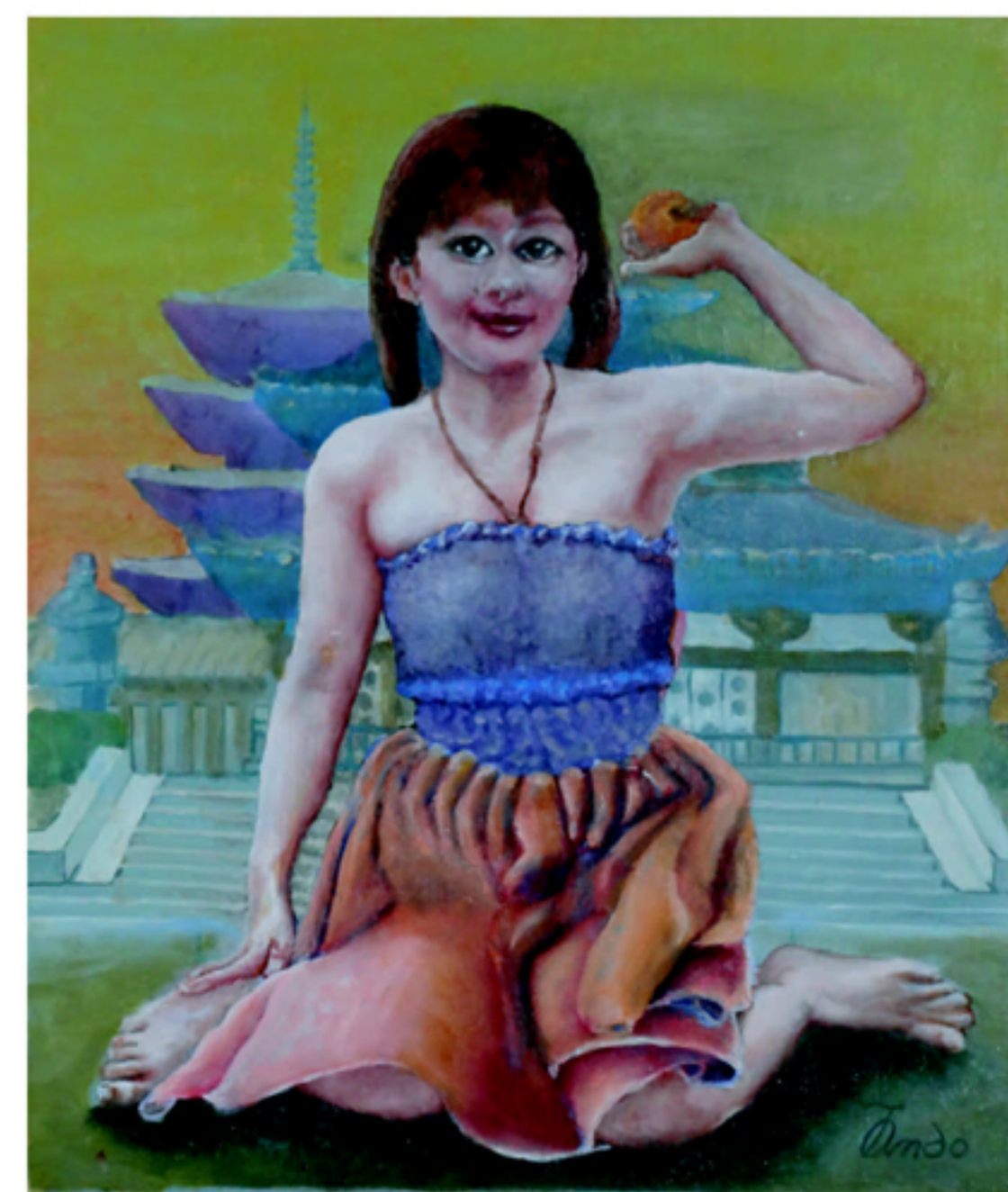
冬の余呉 水彩 F10  
阿久津一正



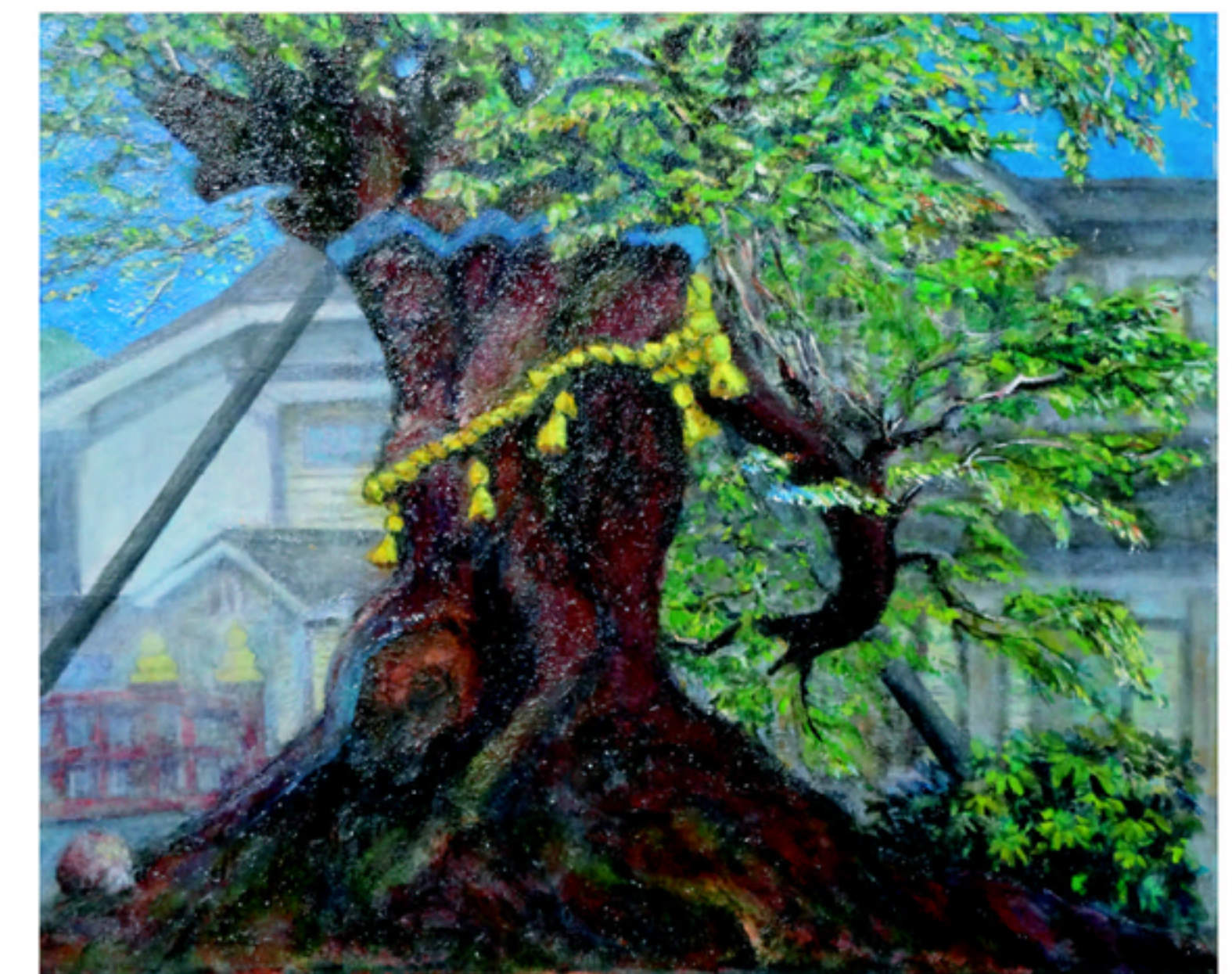
そば処 美山 油彩 P20  
佐藤千代子



初雪(有明山) 油彩 F15  
高須美智子

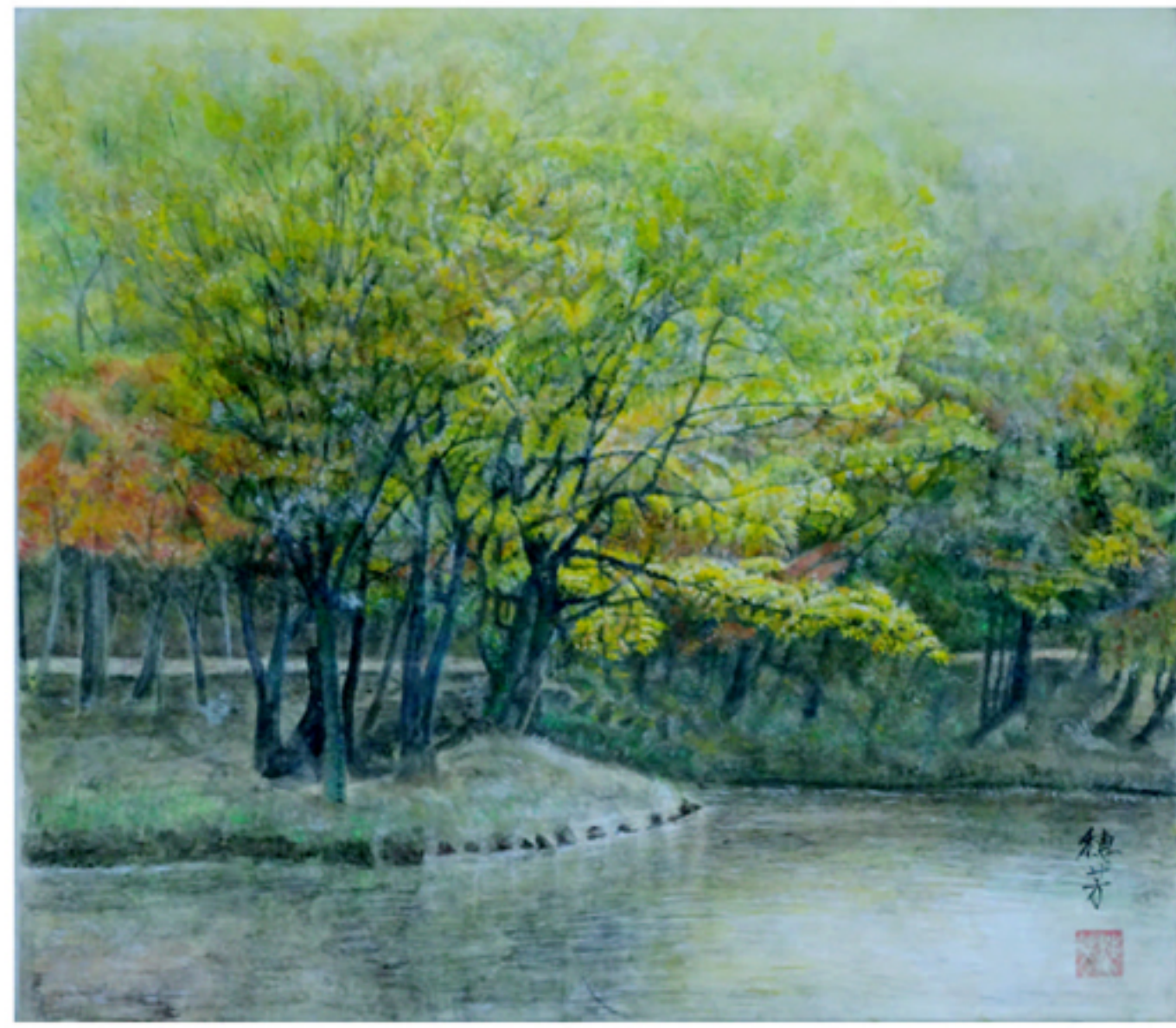


柿くえば・法隆寺 油彩 F10  
安藤敏勝

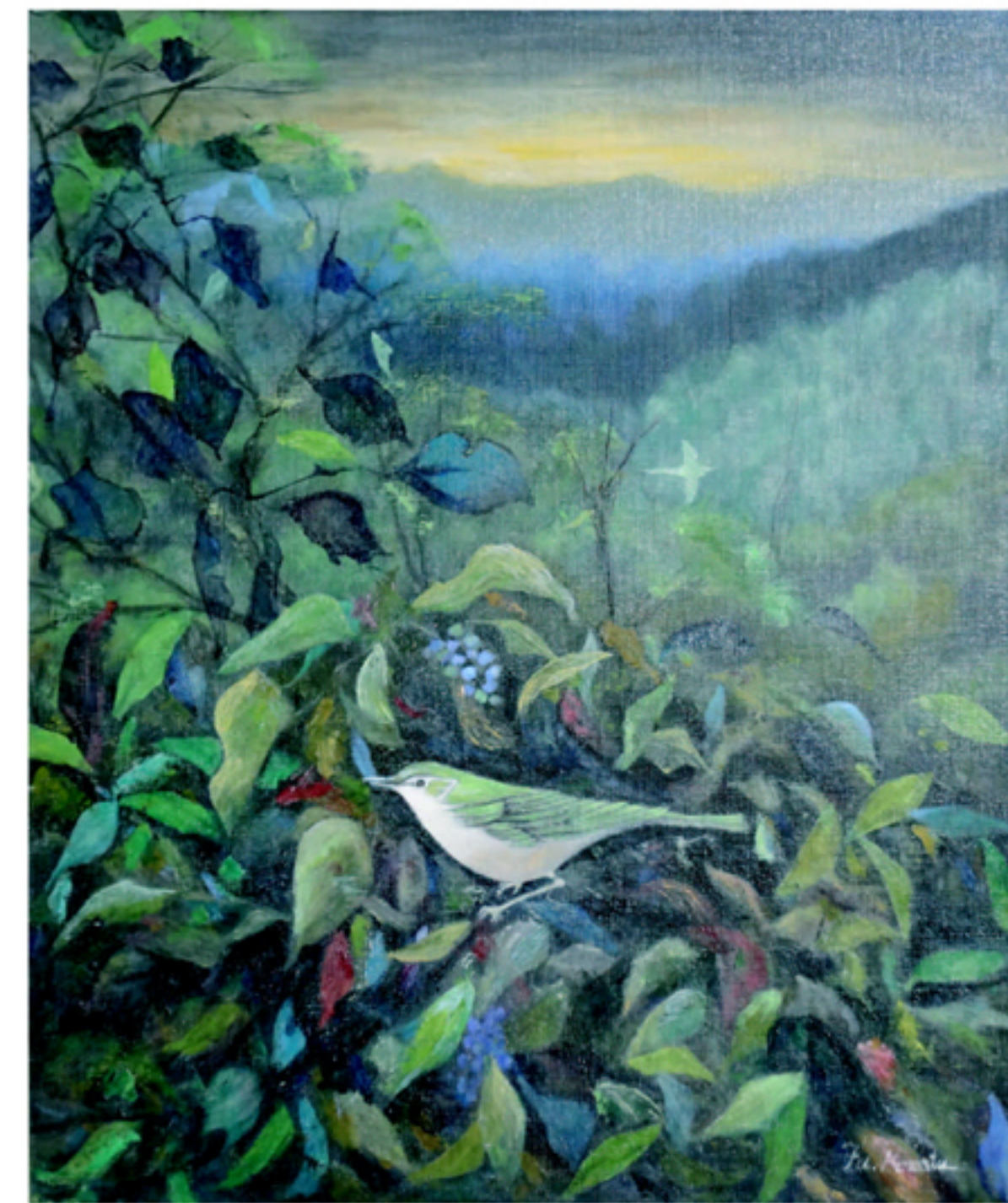


木の根橋 油彩 F15  
伊藤静代





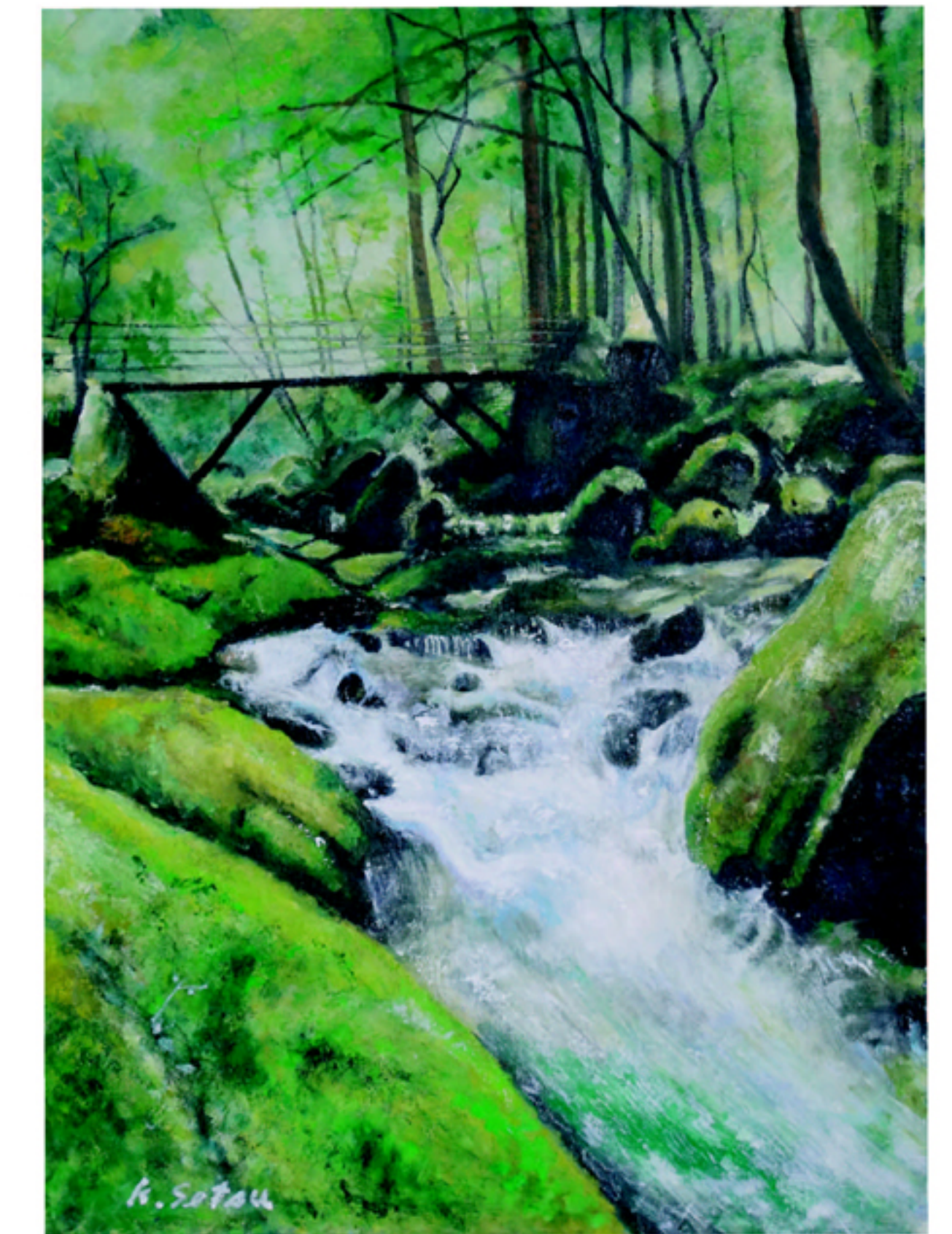
秋林 日本画 F10  
久保穂芳



林鳥 油彩 F15  
小松フサエ



菊 水彩 F10  
正代高人



溪流 油彩 P30  
瀬津吉三



静物 水彩 F20  
坂口観治



ゆり 日本画 F10  
澤田久仁子



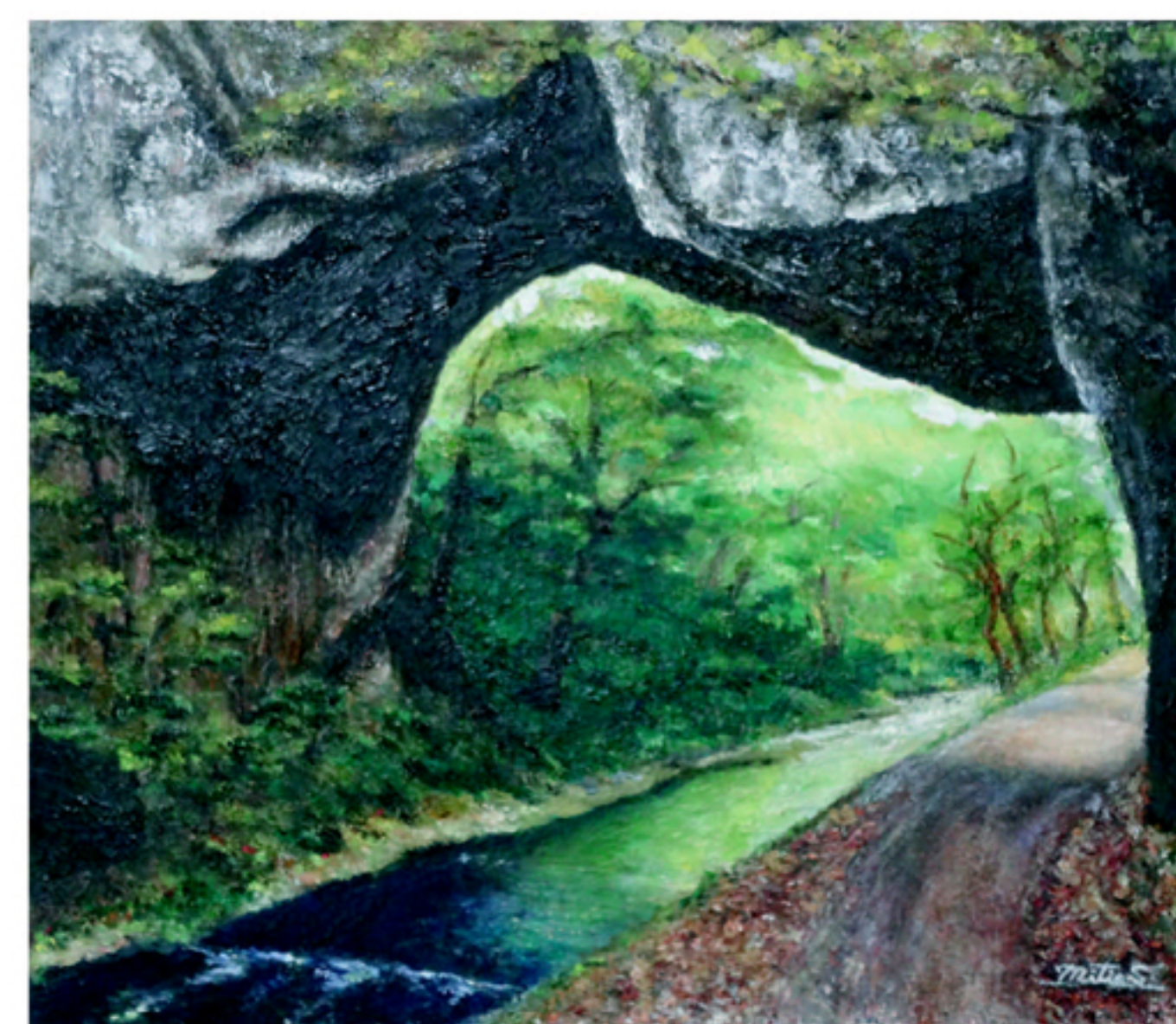
Passing アクリル 65cm×65cm  
高槻のぶ子



秋 日本画 F10  
高原進子



フランスの田舎 油彩 F20  
猿渡テイ子



春の帝釈峡 雄橋 油彩 F10  
嶋田紀江



阿修羅像 きりえ 89.5cm×69.5cm  
田中 進



里山の民家 水彩 F10  
竹下 茂

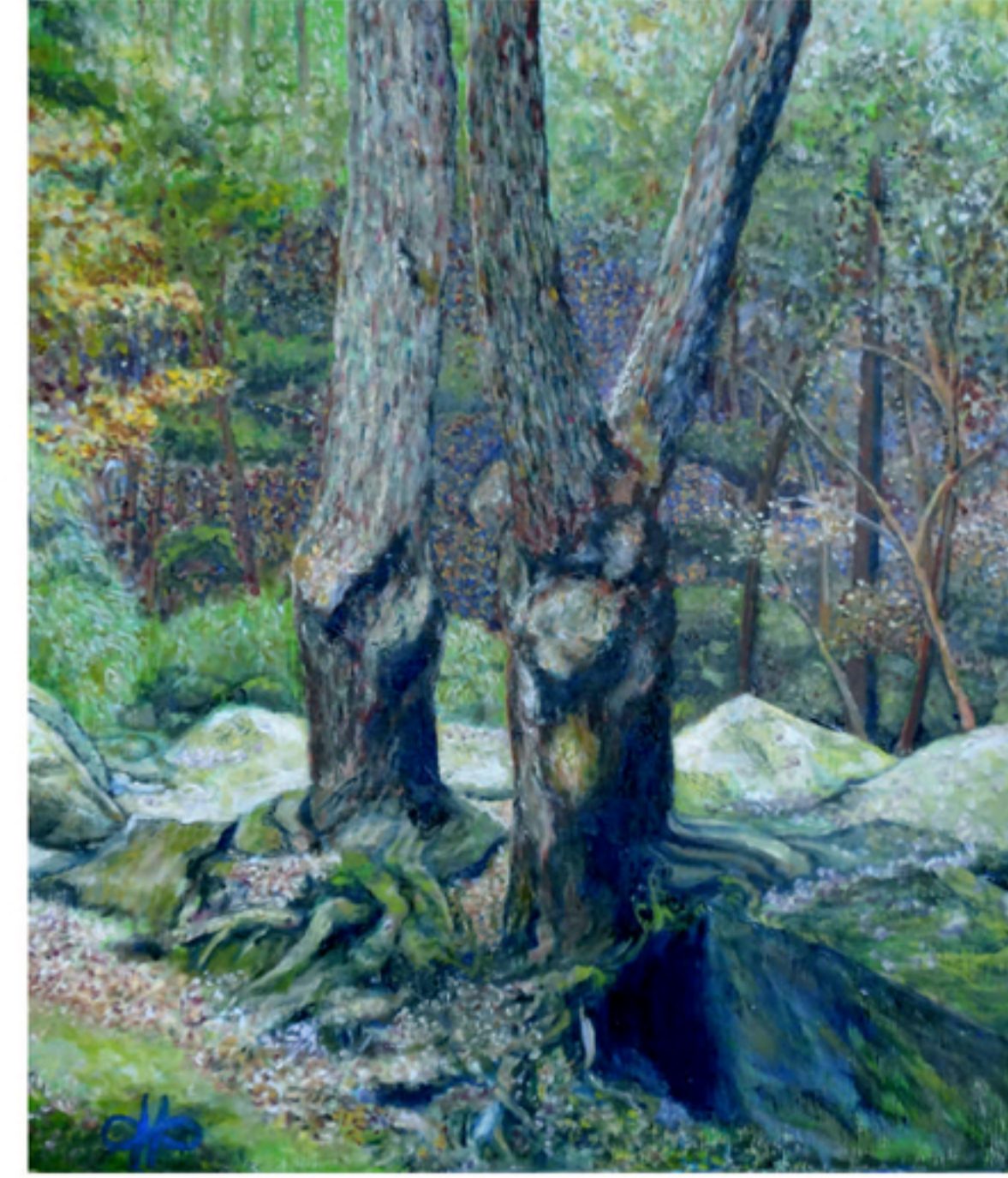




ベネチヤ 油彩 F20  
谷平富士子



静物 水彩 F10  
堤 保雄



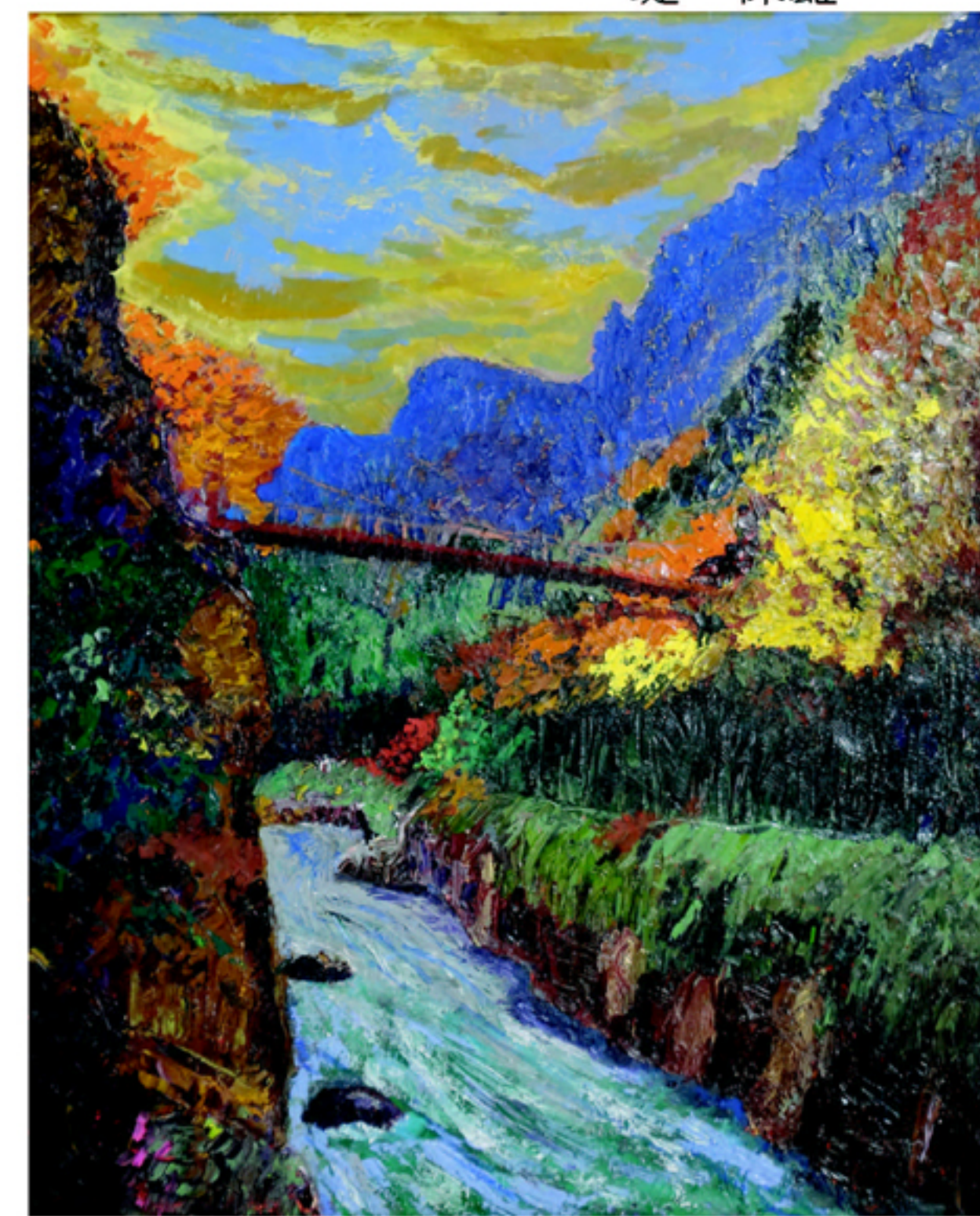
立ち木 油彩 F20  
浜 修一



春想 日本画 F20  
原田信子



ざくろ 油彩 F30  
鳥井幸子



溪谷の秋 油彩 F30  
中平嘉代子



中之島暮色 油彩 F20  
久野洋一



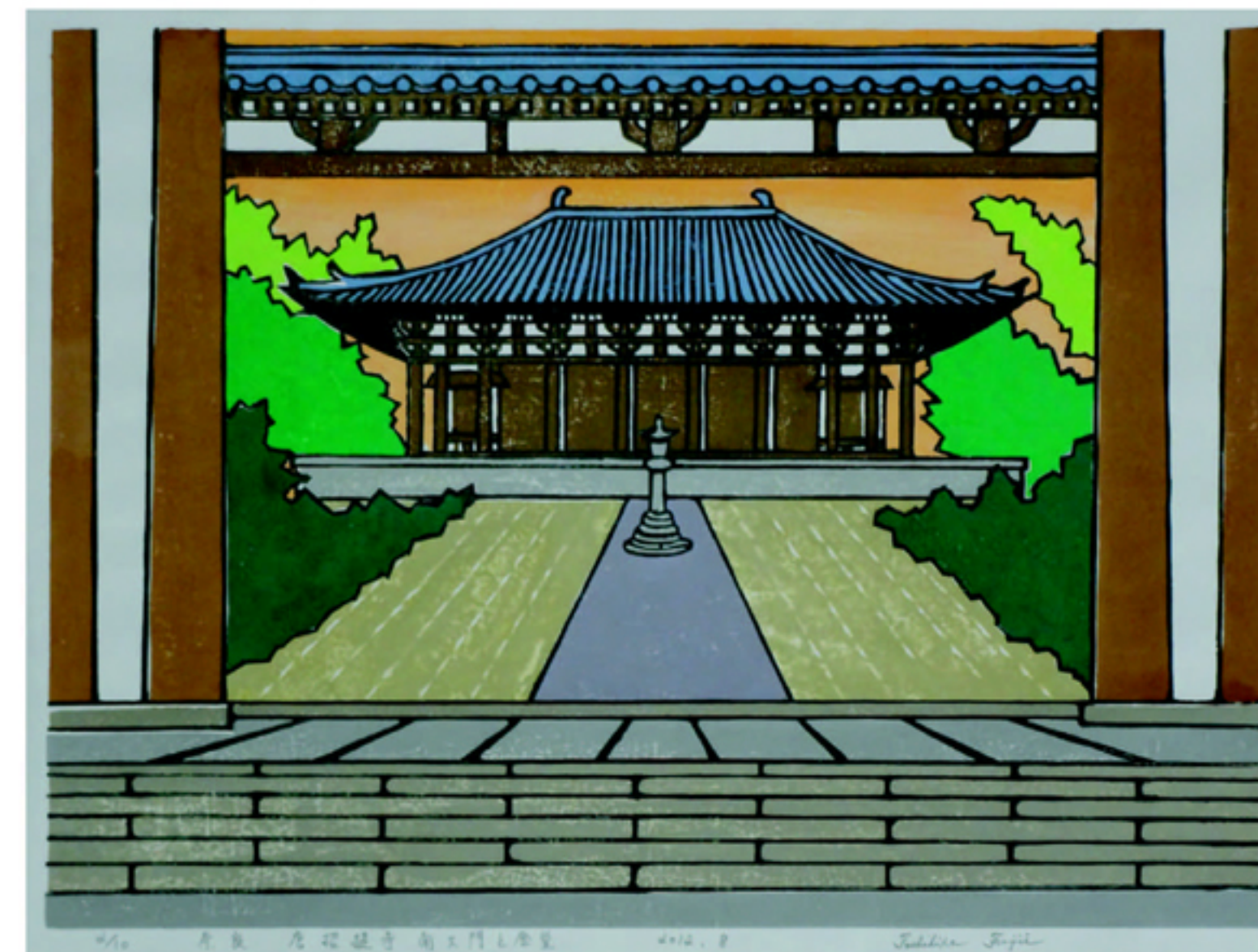
郷愁 油彩 F20  
福地博文



街角の喫茶店 油彩 F10  
西尾真佐子



ひまわり 油彩 F30  
畑森富美栄



国宝 唐招提寺金堂 木版画 45cm×58cm  
藤井壽秀



涙を流す女 油彩 F20  
藤本 稔





舞妓ともみじ パステル・水彩 P10  
水口則子



for you 水彩 F30  
正木伸子



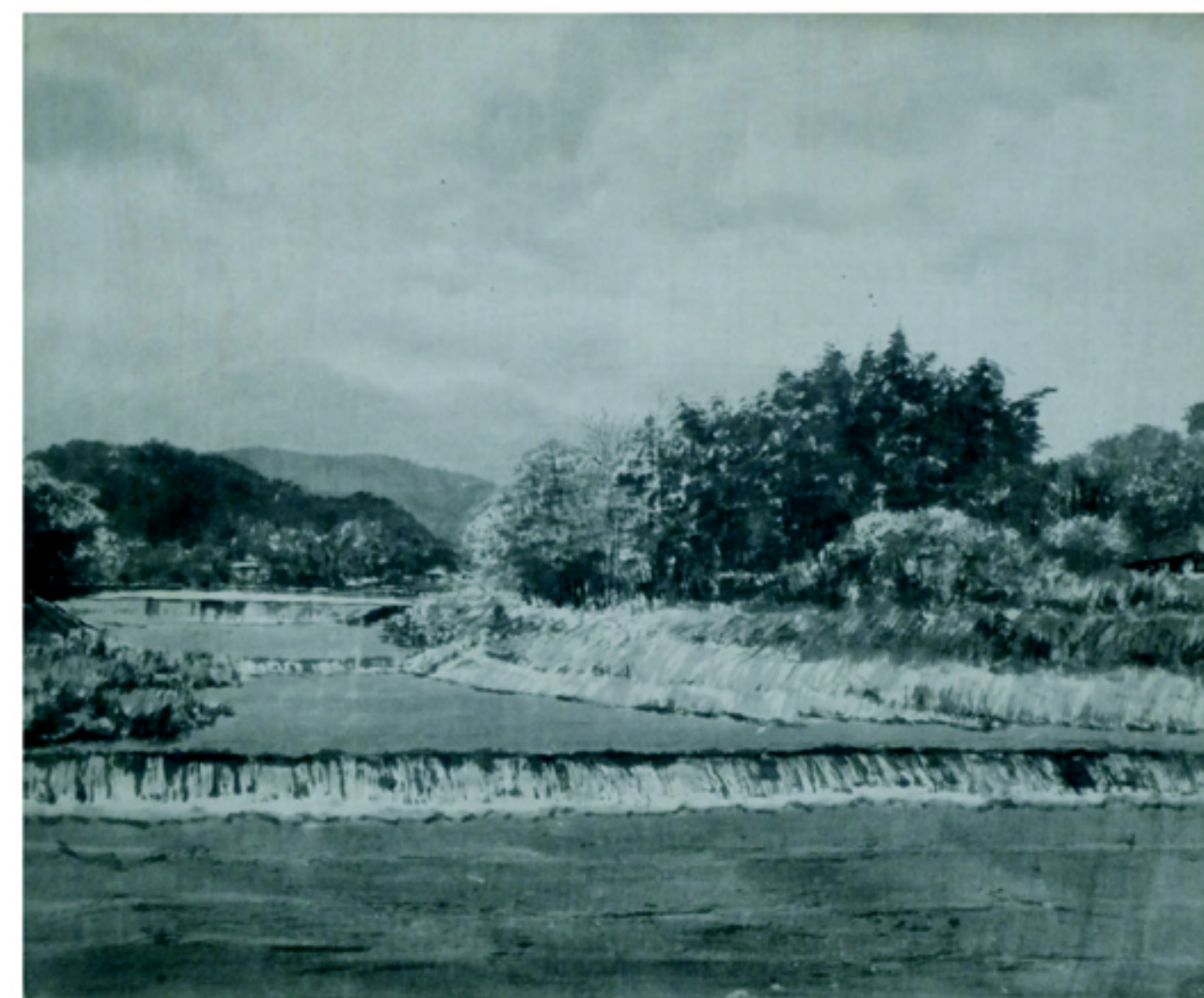
赤レンガ（横浜）油彩 F30  
森力ヨ子



東福寺参道 油彩 F10  
森 清孝



人物 油彩 F30  
山田満世



鴨川上流 水墨画 15号  
安田文男

## 30周年によせて

寝屋川市美術協会創立30周年によせて

守田 集

寝屋川市美術協会30周年おめでとうございます。  
皆様のご厚意により30周年記念展に展示のご招待をいただきましたが、暫らく絵画から離れ  
体調回復に努力したいと考え、参加できない旨をお伝えしました。持病が、未だ回復の兆し  
もないまま今日に至って居ります。誠に申し訳ありません。今後皆様も市美協に力作を持ち  
より新風を吹き込み、世に知らしめる画人が生まれることを期待いたします。この度はお礼  
とお退会の詫びを申し上げます。有難うございました。

寝屋川市美術協会30周年を迎えて

南雲 ゆう子

小さい時から絵を描くのが好きだった私はいつの頃からか、油絵に興味をもっていた。や  
がて育児の手も離れて、絵画教室に通いました。それから縁あって市美協会に入会させてい  
ただきますが、最初の頃の新春展、秋季展、ロビー展等に飾られている自分の作品を眺めて、  
もっと頑張ろうと意欲を燃やしたものです。あの時の気持ちは今でも変わる事はありません。  
絵の先生や仲間に恵まれて、毎日がとても楽しいです。最近では駅前ギャラリーとデッ  
サン会の新しい行事が加わりました。これからも寝屋川市美術協会がますます発展して行く  
事を心から願って降ります。

夢を求めて

尾垣 星華

一枚の絵を観てやすらぎと感動を覚え、この幸福を悩める人におすそ分け出来たらと、日  
増しに思いがつのり一大決心!! 平成9年市美術協会に入会、素敵な先生や仲間と出会い、  
和を持って生き生きスケッチ、美術館へと足を運び楽しいヒトトキを過す事に……気力体力  
ある限り、夢と感動を与えられる絵を求め描き続けたく思います。そしてこの協会を創立さ  
れた先生方の強い意志と誇りを忘れずに、若き世代の力を合わせ末長く益々発展されます事  
を切に願ひ、又寝屋川市民として微力乍も文化向上にお役に立てればこの上なき喜びと存じ  
ます。

雑感

竹下 茂

時の流れは早いもので美術協会に入会して何年になるだろうか、指折り数え愛着をつのら  
せる者です。趣味を同じくする仲間と共にバス旅行、近場の写生会等々に参加、それ等の成果  
の発表等々忙しく過ごして居ります。また日ごろ作品の向上を目指す勉強を重ねており、そ  
れらは日常作品の中ですゝめております。よく言われる事ではありますが「なかなか上達しない  
のだが、何か秘訣があるのだろうか」という問に対して、物事の上達は持続であると思いま  
す。何事も続けていけば味のあるいいものが必ず出来るものと信じてやみません。趣味を同じ  
くする仲間と顔を合わせ話をすることで道は開けてくるものと信じながら上達への連なりに励  
んでおります。経年違いの作品を見ればよく分かるものと信じています。

思うこと

森 清孝

寝屋川市美術協会は、市の文化連盟の中でも古い方でした。市美術協会は単なるサークル  
でも教室や塾でもなく、加入はあくまで個人の資格で、会員間の差もなく対等である。各会  
員には経験の差があり、制作技能の達人な人、未熟な人もいる。協会はそれらを見つめて会  
をまとめてゆかねばならない。市美術協会展・選抜展（秋季展）は、もっとフランクに意見  
を述べ合う場があっても良いのではないだろうか。何も批評されないのは淋しいものです。  
会のますますの発展を願っております。

私の作品について

小松 烈

絵は50年程描いていますが、今描いている作品は宇宙、海底、森林、街と地球を意識して  
色彩と面線で構成し神秘の世界を絵にしたいと描いています。仏像は暗いイメージがあるので、  
作品を見て明るく優しい気持ちになる様、色彩には特に考えて描いています。今社会はなん  
となく嫌な事が多く気持だけでも一筋の光になる事を願ひ、これからの作品にしたいと思  
います。フランスの個展で、ブルジュの美大の先生に色が綺麗と云われ自信がつかました。  
他の人と違う発想、スタンドグラスのイメージで色彩に拘りミステリーシリーズを続けたい  
と思います。



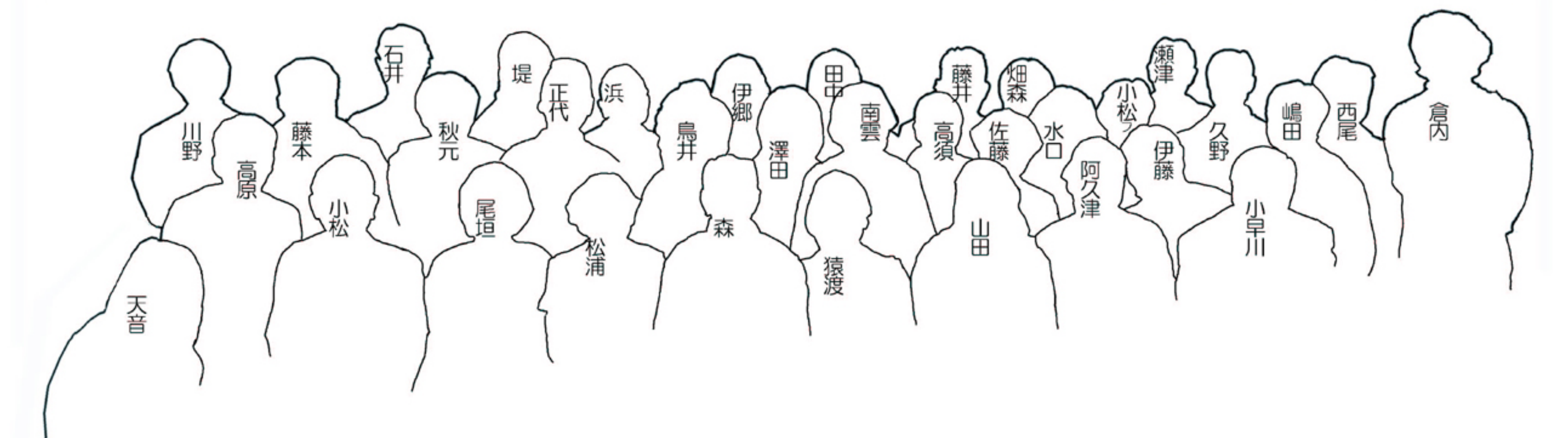
## 公募展の入賞者および入選者

青山 幸生	全関西美術展	迷い	入選
秋元 正志	日展	午後の丘	入選
天音 比佐	ラ・イン会展	悠久の大地	読売テレビ賞
伊郷 武治	関西旺玄会展	わが街に高速道路	入選
石井 好道	旺玄会展	廃城・夏草の賦	佳作賞
尾垣 星華	旺玄会展	溪流	入選
川野 信敏	旺玄会展	伊根港にて	努力賞
倉内 崇之	創彩会展	人物画Ⅳ A嬢の像	豊中市長賞
小松 烈	創彩会展	Mystery	創彩会賞
佐藤 千代子	全日本アートサロン 絵画大賞展	桜島大根	入選
嶋田 紀江	上野の森美術館 日本の自然を描く展	春の帝釈峡	入選
正代 高人	関西旺玄会展	人形の家	入選
瀬津 吉三	日美展	生石高原	審査員奨励賞
田内 康雄	関西旺玄会展	連光	佳作賞
谷平 富士子	二元会展	戯	大阪教育委員会 第2席
鳥井 幸子	創彩会展	なかよし	大阪府議会議長賞
南雲 ゆう子	創彩会展	卓上の詩	優秀賞
畑森 富美栄	関西旺玄会展	フラワー	ホルベイン賞
藤井 壽秀	新創美術展	法隆寺金堂と五重塔	大阪府知事賞
藤本 稔	新世紀展	少女の夢	入選
水口 則子	旺玄会展	ゆり風景	入選

## 会員名簿

平成26年 1月 現在

石井 好道	小早川協右	原田 信子	嶋田 紀江	福地 博文
秋元 正志	佐藤千代子	田中 進	正代 高人	藤井 壽秀
倉内 崇之	高須美智子	阿久津一正	谷平富士子	藤本 稔
小松 烈	松浦 澄江	安藤 敏勝	堤 保雄	正木 伸子
尾垣 星華	伊地智友子	伊藤 静代	鳥井 幸子	水口 則子
天音 比佐	田内 康雄	久保 穂芳	中平嘉代子	森 力三子
南雲ゆう子	瀬津 吉三	小松フサエ	西尾真佐子	森 清孝
青山 幸生	高槻のぶ子	坂口 叡治	畑森富美栄	安田 文男
伊郷 武治	高原 進子	猿渡テイ子	浜 修一	山田 満世
川野 信敏	竹下 茂	澤田久仁子	久野 洋一	



編集後記  
 発足30周年の節目を、仲間と迎える事が出来たのは、大いなる喜びです。  
 過去と未来をつなぐ記念誌となるように力を合わせて編集しました。  
 次世代への期待も込めて。

編集者 一同  
 天音比佐 石井好道 秋元正志 倉内崇之 伊郷武治 田中進 川野信敏

編集： 寝屋川市美術協会  
 印刷： 石川特殊特急製本(株)  
 発行： 平成26年3月